

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月23日更新

事務事業名		経営体育成支援事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康	所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	26	農業の振興	所属課	農政課	担当者名	後藤 啓介
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化	所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 11617	根拠法令	強い農業・担い手づくり総合支援交付金実施要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	実質化された人・農地プランに位置づけられた中心経営体等が、農業経営の発展・改善を目的として、金融機関からの融資を活用して農業用機械等を取得する場合に、取得に要する経費から融資等を除いた自己負担額について助成する。 (助成額：事業費の3割) 災害時には被災農業者の営農再開支援のため、施設や機械の復旧経費について助成する。
【業務の流れ】	①要望調査②調書作成③計画承認申請④内示⑤交付申請⑥交付決定⑦契約、着工⑧竣工、検査⑨概算払い⑩実績報告⑪精算払い⑫達成状況調査
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	通常分については、採択されるための基準値を満たす申請者が少ないため、年々事業実施者が減少している。 災害分については、被災していることが条件であるため、事業実施者が多くなる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	担い手づくり支援交付金事業要望調査後、採択された3経営体分について、機械、施設導入に係る補助を実施した。 【基準に達しなかった理由】担い手確保・経営強化支援事業にて採択された1経営体分の機械導入については、令和4年度へ予算の繰越を行なったため。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 農業施設・機械の導入の助成
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 導入機械数	台	
→ イ: 導入施設数	棟	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市人・農地プランに位置づけられている中心経営体(災害時は全被災農業者)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 事業申請者数 人
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	経営規模の拡大や業務の改善(営農再開)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 助成対象経営体の成果目標数 項目
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
農業経営の改善・発展を図るのがこの事業の目的のため		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	ア	台	0	4	5	3	5	5	5	5	
	イ	棟	1	0	0	1	0	0	0	0	
② 対象指標	ア	人	1	1	5	4	5	5	5	5	
	イ										
③ 成果指標	ア	項目	0	2	3	8	3	3	3	3	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		19,500						
		都道府県支出金	千円	12,401	3,830		4,729				
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	137	713	48	48	48	48	48	48
		(A) 事業費計	千円	12,538	24,043	48	4,777	48	48	48	48
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	4,248	3,548	1,992	2,306	1,992	1,992	1,992	1,992
トータルコスト(A)+(B)	千円	16,786	27,591	2,040	7,083	2,040	2,040	2,040	2,040		

事務事業名	経営体育成支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 通常分について、基準値を満たす申請者が少なかったため。
	② 4年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 配分基準を満たす申請者が少ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 予算の配分次第では採択される基準値が緩和されることもあり、事業実施件数が向上することが見込める。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業無し。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 全額国庫補助のため削減できない
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 予算執行や目標達成状況報告などのとりまとめが毎年行われるため、委託等はいできない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 補助要件に該当する農家には補助金の案内をその都度通知しているので、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国、県、市を通しての補助金であるので、役割分担の見直しはできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

令和3年度は通常事業で4経営体が事業実施している。
 今後、経営体からの相談に応じて採択基準の説明を行ない、採択のためのアドバイスを行っていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						